

伊藤鈴藍 のライフプラン

将来なにになりたいか? **宇宙飛行士**

その理由: **宇宙でまたたきもしたいことにはしたい。**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2022年	7(小)	今から勉強やたしはをがんばる。(算数、国語)	お金のいらない
2023年	8(小2)	本家のたしはやたしはをがんばる。	たしはの材料
2024年	9(小3)	キッズBEEで賞をとる。	
2025年	10(小4)	しんけんをたしはで。	
2026年	11(小5)	科学の算で賞をとる。	
2027年	12(小6)	さんおオソソビクでメダルをとる。	
2028年	13(中1)	中学入学	入学料 えいごの材料
2029年	14(中2)	いしやとあつしをがんばる。	
2030年	15(中3)	えいごもがんばる。	
2031年	16(高1)	高木交入学 うんどうのあつし大会にアツ	入学料
2032年	17(高2)	ひまわりけんたしはをがんばる。 えいごをかいはる。	
2033年	18(高3)	大学のあつしのけんたしはをかいはる。	
2034年	19(大1)	いしやの大学に入学	入学料
2035年	20(大2)	大学のけんたしはをたしはでがんばる。	
2036年	21(大3)	大学でともだちをたしはでつくる。	
2037年	22(大4)	いしやのけんたしはをかいはる。	
2040年	25	大学のけんたしはをたしはでがんばる。 いしやのけんたしはをかいはる。	いしやのけんたしはをかいはる。

※最後の行は、何歳の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!

宇宙飛行士にぜったいなることがわたしのゆめ

筑波大学附属小学校 一年 伊藤 鈴藍

わたしは、しょうらいぜったい宇宙飛行士になりたい。なぜなら宇宙でまだだれもしらないことを一番にしたいからだ。JAXAやプラネタリウムやはくぶつかんにいって宇宙についてしらべることだ。

わたしが宇宙飛行士になるためにがんばっていることは大きく二つある。

一つ目は、べんきょうだ。とくにさんすうとじっけんだ。

さんすうは、3さいのころからまいにちかかさずけいさんやパズルをやっている。かんがえる力をつけるためにひきつづきがんばりたい。じっけんは、じぶんの目でやていろいろなことをためしてたしかめることがとてもたのしい。宇宙飛行士になってじっさいにじぶんの目でちかくでほしをみたり宇宙のなかにいろいろなじっけんをしたりしたい。

もう一つは、たいりよくづくりだ。宇宙飛行士になるとたくさんのかこくなくんれんをしなければならぬ。そのためには、いまからたいりよくをしつかりつけておくひつようがある。わたしは、3さいのころからからてをがんばっている。またこのなつやすみは、三かかんおやとはなれてからてのがつしゆくにいたりまいにちかかさず二重とびのれんしゆうをしたり水泳をがんばったりした。なつやすみのながいけんをいかして、人のこきゆうのしくみをまなぶじっけんや天気図をかくことにもちようせんしてすこした。

宇宙飛行士になるためには、大学いんをでたあと3年いじようほかのしごとのけいけんがひつようになることがわかった。わたしは、人をたすけるためにいしやになりたいというゆめもあるのです。いしやになってけいけんをつんで宇宙飛行士せんばつしけんをまとうとおもう。

宇宙では、人をたすけることのやくにたつような、じっけんをたくさんしたいとおもっている。